

夢二好みの君が行く！

夢二式美人のひよつ



花火 1924年



無題(『三味線草』口絵)1915年

「夢二式」や「夢二式美人」の

言葉は、竹久夢二の作品に見

られる個性的な表現から生ま

れ、今では辞書に載るものとな

りました。しかし、人気画家として

活躍する以前の明治40年、初めて「夢二式」の語が使われた記録では「旅行中

の竹久氏大きな信玄袋(夢二式の妙な形)に材料を満載して帰社す」

(1907年明治40年)5月28日『読売新聞』編輯日誌より」と独創的に見

慣れないものを意味し、作品や美人を表す言葉ではありませんでした。

後に夢二が名声を得るにつれ「夢二式」の意味も転じたと考えられますが、本

展では夢二式美人の成り立ちを追いかけるとともに、大衆の心を掴んだ独特

の表現に注目し、生涯を通して女性の美を探した夢二の理想に迫ります。

当館コレクションから選りすぐりの「夢二好み」の美人たちをご鑑賞ください。

2022
6・4 SAT
▼
9・25 SUN

稲荷山 1921年頃

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
TEL 03(5689)0462

開館時間 午前10時～午後5時(最終入館午後4時半まで)

休館日 月曜日

※7月18日(月・祝)・9月19日(月・祝) 開館、

7月19日(火)・9月20日(火) 休館。

※新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日・開館時間が
変更になる場合があります。

入館料

一般 1000円 / 大・高生 900円 / 中・小生 500円

※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

高島華宵の美人画も展示！

